

第6回議会報告会

報 告 書



議会報告会撮影時の様子

令和2年10月
海老名市議会

【目 次】

【海老名市議会報告会開催概要】 P 2

【報告の概要】 P 3

【総括】 P 4

【議員一覧】 P 5

【海老名市議会報告会開催概要】

○ 目的

開かれた議会を目指し、市民の負託に的確に応えられるよう議会活動の状況等について説明責任を果たすとともに、市民の意見や要望等を広聴するなど、市民との対話の機会を図るため、議会が主体となって議会報告会を開催する。

○ 実施主体及び出席議員

実施主体：海老名市議会（海老名市議会 広報委員会）

出席議員：別紙名簿のとおり。

○ 実施方法

YouTube での動画配信による報告。

○ 動画配信期間

令和2年8月11日（火）から令和2年9月11（金）まで

○ 意見収集の方法

メール及びFAX

○ 報告の構成

- 1 議長あいさつ
- 2 議会報告会開催にあたって
- 3 予算決算常任委員会から令和2年一般会計補正予算の経過等を報告
- 4 各分科会から令和2年度一般会計補正予算（第1号から第6号まで）の中で新型コロナウイルス感染症に関する内容を報告
 - （1）予算決算常任委員会 総務分科会 報告
 - （2）予算決算常任委員会 文教社会分科会 報告
 - （3）予算決算常任委員会 経済建設分科会 報告
- 5 副議長あいさつ

【報告の概要】

はじめに議長から議会報告会の概要について説明しました。

次に広報委員会委員長から、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の会場を用意した対面方式は取りやめ、動画による報告会を実施した経過を説明しました。

次に、予算決算常任委員会副委員長から、令和2年2月から7月までに審査した市の補正予算の動きと、国の補正予算の動向、緊急事態宣言の発令、学校の休業など国内で起きた事象を時系列に併せて報告しました。

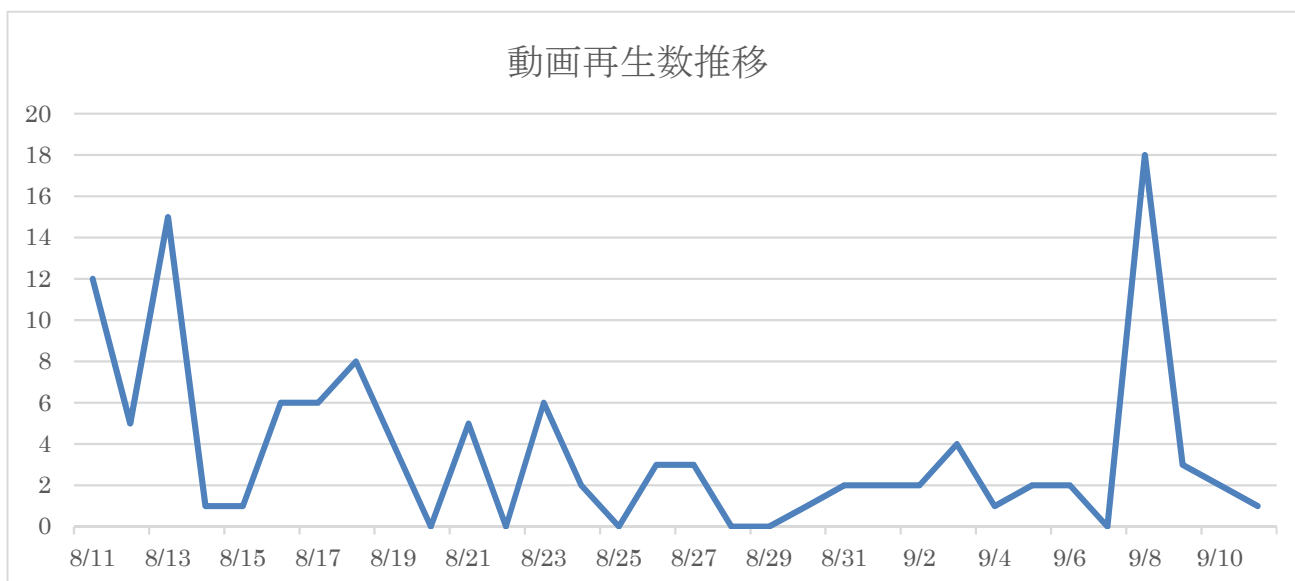
次に、総務、文教社会、経済建設の分科会から、分科会委員の紹介を行った後、分科会会長から令和2年度海老名市一般会計補正予算第1号から第6号までの内、新型コロナウイルス感染症に関連した補正予算の審査内容を報告しました。

最後に副議長から視聴者へのあいさつを行い動画は終了しました。

【委員会での検証】

○YouTubeでの動画再生について

- ・動画再生回数 117回（令和2年8月11日から9月11日まで）
- ・1日平均再生回数 3回
- ・再生回数の変動（グラフ）



・視聴者からの意見

メール及びFAXにて意見集約を試みましたが、報告動画に関する意見の提出はありませんでした。

○他コンテンツとの比較、参考値

・市議会フェイスブック

(令和2年8月11日の告知開始、動画公開から9月11日の動画公開終了まで)

総閲覧数 225回

1日平均閲覧数 7回



・市議会ホームページ一般質問動画の閲覧数

(令和2年9月13日時点の議員1人あたりの平均数)

令和元年第4回定例会(12月議会) 149回

令和2年第2回定例会(6月議会) 101回

【総括】

議会報告会の開催にあたっては、実施目的である「市民の意見や要望等を広聴するなど、市民との対話の機会を図る」ことを達成するため、広報委員会で協議を続けてきました。

今回は協議を進める中、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う国の緊急事態宣言の発令、神奈川県主催のイベントの中止、市の一部公共施設の休館など様々な社会情勢を総合的に鑑み、第6回議会報告会においては、従来の会場を用意した上での、参加者との対面方式による開催を中止しました。従来の方法を中止したことに伴い、別の方法による議会報告会の実施を広報委員会において協議、検討した結果、動画配信による方法を採用し、実施しました。

・動画、周知方法、意見集約について

動画は報告内容、撮影場所など視聴者への見やすさ、伝わりやすさ考えた上で、市議会議員全員が参加できる構成を協議、検討し作成しました。

周知方法は、ホームページやフェイスブックなどインターネット媒体を中心に行い、周知直後は動画再生数の増加が見受けられましたが、日数が経過するにつれて再生数の減少が見受けられました。このことから継続的な周知が再生数の増加に繋がることが推測できました。

意見集約はFAX及びメールを用いて実施しました。しかしながら、一定の動画再生数があったものの、視聴者から意見が得ることができなかったため、今後の課題と認識しました。

・今後について

今回の動画による議会報告会は市議会としての新たな取り組みであり、コロナ禍において市議会の状況を発信することができ、一定の効果があったと考えます。

また、「市民との対話の機会を図る」ことが報告会開催の目的に掲げられているため、市民の方々の意見集約、課題の把握等に努めるための取り組みが必要と考えております。

今後は、新型コロナウイルス感染症の影響と先行きが不透明であることから、広報委員会として報告会の開催方法等を十分に検討していきたいと考えます。

【出席議員一覧】

福地 茂	(議長)
市川 洋一	(副議長)
池亀 幸男	(広報委員会 委員長)
松本 正幸	(広報委員会 副委員長)
森下 賢人	(予算決算常任委員会 委員長)
日吉 弘子	(予算決算常任委員会 副委員長)
宇田川 希	(予算決算常任委員会 総務分科会 会長)
田中 ひろこ	(予算決算常任委員会 総務分科会 副会長)
久保田英賢	(予算決算常任委員会 文教社会分科会 会長)
戸澤 幸雄	(予算決算常任委員会 文教社会分科会 副会長)
志野 誠也	(予算決算常任委員会 経済建設分科会 会長)
永井 浩介	(予算決算常任委員会 経済建設分科会 副会長)
倉橋 正美	
藤澤 菊枝	
佐々木 弘	
相原 志穂	
吉田 みな子	
葉梨 之紀	
つつ木みゆき	
三宅 紀昭	
たち登志子	
黒田 ミホ	